

南稲苑ビッグ

有限会社
南稲苑開発社
山形県上山市高野字薄沢3
電話 023-679-2321
FAX 023-672-3723
料理店 023-679-2322
発行責任者 齋藤 貢

蔵王山噴火警報解除 待望のエコライン開通へ

仙台管区気象台は16日、山形宮城両県にまたがる蔵王山に出していた火口域周辺の噴火警報を解除した。同気象台は引き続き、活火山であることに留意する必要があるとしており、突発的な噴火などに備え関係自治体は御釜周辺で自主規制を行う。一方、約2ヵ月開通が遅れている蔵王エコラインについて



蔵王山、熊野岳、刈田岳、山形県上山市高野字薄沢3

22日の開通を目指し調整していることが複数の地元関係者への取材で分かった。平成27年6月17日(水)山形新聞朝刊より、
長かった観光客ゼロの日、
警報がいつ解除されるのか、長い長い日が続いた。数ヵ月になるのか、或いは数年になるのか、アテのない噴火警報に耳を傾けてきた2ヶ月間だった。
30度近い気温にも体力を維持し、庭の植木物や畑の作物等に水やりはかかせなかったが昨日の山新に警報を解除する見通しとトップ記事に出たのを見た後、雷が遠く空から聞こえたと思ったら、たちまち暗い雲に変わり大雨となった。雷様の音と共に庭中、洪水のように濁った水が流れ、鯉池に入ってしまった。これは何も噴火解除とは関係ないと思うが何故か長い乾燥期に天雨と思える雨。蔵王山の噴

火解除と合わせて嬉しい日を送ったような気がする。
お山への登り下り、折はぜひ当店にも足を運んで頂きたいです。
H27.6.17記 サイトウ M

家族になった猫が 子を産んだ

千の平に乗り目のクリクリした三毛のメスネコが家に来たのは去年の秋、十月だった。人の顔を見てはチヨロチヨロと動き回るのそのままたちヨロコと名付けた。名前を呼ぶと愛嬌満面、返事をする様になり遊びも楽しくなった。
ズーツと子供であれば良いと思っていたら今年五月の末、腹の膨らみを感じた。若しかして妊娠？と言っている内に三匹の子を産んでいた。一匹は母似の三毛、他の二匹はオス親似と思われれる赤トラだった。
数日経って三匹共姿を消し親猫だけ領喰いにやって来るが子は何処にもいない。後で住居裏にネコが出入りできる位の板に透き間のある所を見つけた。穴の上部には猫らしいものが付いていた。チヨロコは緑の下に子を隠してしまっただようた。諦めかけた或る日、自分のお家にしてある竹(お勝手玄関の左隣)に



す、かり母親らしくなつたチヨロコと愛らしい子ネコ

一匹だけ入っていた。他の赤トラ二匹はいない。何日経っても一匹の子だけと愛撫し続けている。
そう言えば子猫が姿を消す前に何回かオス親らしき赤トラの猫が邪魔に来ていたのだ。強盗かこそ泥みたいに近寄ってきて、人の気配に素早く逃げて行くのを何回か見ている。チヨロコは危険を感じて一匹だけでも緑の下へと隠してしまつたらしい。今、二匹の親子は幸せに暮らしている。
「ひょう」の音 母ネコ スベリヒユ
今の季節あらゆる所に群生します。肥えている畑のひょうは茎も太く葉も大きいのでやわらかくおいしい。茹でてからし正油で。茹でて天日で干し、冬の保存食にします。戻して油炒め煮はうまい。ひょうとして良いことがあるように」と縁起物としても食べます。

ガーデン日記

6月13日(土) 晴

大ヒカモ達の小屋に張ってある板が長年の風雨より腐れ始めたので取りはずす。柱もボロボロ〜若干の補修をする。翌日新しい板を張った。素人の大作業、つかれた。

6月15日(月) 晴

地竹の筍をとる。年数が経っているのかかなり太いものが収穫できた。これから数日間筍採りの作業がある。

過日板張りした所へペンキを塗る。やはり素人作業なので手も衣もペンキ色に塗られた。

6月19日(金)

朝顔へ支柱する竹と切る。朝顔の種類はろ種。普通の中花、大花、薬用花である。趣味の菜園は毎日2〜3回の面会になら。化学肥料、消毒は一切しはいやり方だ。有機質肥料と有用微生物群(EM)だけの栽培法だ。どこか甘味があり旨い。

6月21日(日) 晴、くもり、雨

当地区会の環境衛生巡りがあり、会食は弊店を御利用戴いた。庭の除草とヒモ鎌による刈り払いする。

珍山菜エゾニユウの小苗を植えたもの8本が若葉をピンと立て元気そうだ。イワガラは枯れてしまった。

午後の3時頃から雷を伴う雨が降ってきた。かわら版の原稿と書いたり、葉草に関する書を開き見る

蔵王山頂へ行く

木こり店から車まで 35分!!



H27.6月22日、蔵王のお釜

所々残雪があり、里の暑さには信じられぬ程、寒い。上着は必ずお持ち下さい。

晴れの良い天気にも恵まれた蔵王エコーラインの開通が今日。(6月22日)。ようやく安全祈願の式が山形、宮城両県、知事も出席して行うことができた。

午後2時を過ぎた頃私らも山頂を目指して走って来た。蔵王エコーラインでは車も人もいかなかったが山頂の駐車場には多くの自家用車が並んでいた。バスといえば中型車が1台あるだけ。後は宮城ナンバーの車が列となっていた。先ずは五色岳のお釜を見たく急ぎ足で向った。噴火口であるお釜は何事もないように静かに居座っていた。刈田岳の山頂へ向った。登りはきつかった。若い時はこんなではなかった苦だかと思いつつ歩調に息を合せ

登り着いた。刈田嶺神社に賽銭を入れ終始安全でありましたようにと手を合わせた後、隣の「おみくじ」売り場に目が行った。箱に100円を入れ、いちばん上にあつた物と引いた。少し離れた石に腰をおろし、七福神おみくじ蔵王刈田嶺神社の袋と開け運勢を見る。「第五十七番末吉」「なんとなく元気がなくなり元氣張ろうとある気が起きず腰が重くなる」とある。「本来の能力が発揮できずイライラする。まともな物もまともならぬので早いうちの三舌力を養う必要あり」とでている。こんな内容に例え当るも八卦当らぬも八卦だと思いつつ一枚のものには弁財天(有福)、音楽、弁舌の本、福德、財宝授与とし、弁財天、美しい女性の姿とした神と書いてある。お山にはけししい気分の風が吹き、やわらかく肌をなでてゆく。2か月遅れのエコーライン開通日に蔵王に登り大自然を眺望し弁財天の金運をもらし願いの事を叶えてくれる神との出会いに気を良くして山を下りた。齋藤貢

そばと山野草料理 木こり
 (有)南稻苑開発社 <http://www.kikorisoba.co.jp/>
 〒999-3115
 山形県上市市高野字薄沢3
 TEL 023-679-2321
 FAX 023-672-3723
 毎週水曜日 定休日

木こり特製 冷し中華
 7月から

木こり特製のちり麺(生ワケメ入麺)に貝村をトッピング。さっぱりと暑〜い夏にあめめのメニーとあ